

授業科目名： 公共演習	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：山脇直司 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校社会及び高等学校公民)		
各科目に含めることが 必要な事項	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		
「学位授与の方針」との関係 「善き公正な共生社会を追究」するための公共哲学の概要を学ぶ科目。			
授業の到達目標及びテーマ 公共社会を形成する人間の在り方を考えつつ、現代社会の様々な公共的な問題について多角的に論考する能力を涵養する。			
授業の概要 まず、公共社会を形成する人間像やコミュニケーションのあり方を論じ、次に、公共的な諸価値(公正、人権、民主主義など)について考え、それを踏まえながら、さまざまな領域にわたる公共的諸問題について考察し、論じ合う。			
授業計画 第1回：イントロダクション 第2回：より良き公正な公共社会を形成する「活私開公」型の人間像について考える 第3回：「減私奉公」「無私開公」「減私開公」について考える 第4回：公共的コミュニケーションと公私問題について考える 第5回：教育のあり方を考える 第6回：人権とは何かを考える 第7回：福祉の在り方を考える 第8回：理想的な国際関係を考える 第9回：異文化共生について考える 第10回：スポーツと公共性を考える 第11回：メディアの公共的問題を考える 第12回：科学・技術の公共的諸問題を考える 第13回：死刑制度の是非について考える 第14回：「理想主義VS現実主義」という二項対立を超える道を考える 第15回：全体のまとめ 定期試験			
テキスト (1) 山脇直司,西永堅,手島純,天野一哉,山口道宏,細田満和子,大嶋英一,渋谷節子,内尾太一,渋谷聡 服部由季夫 著 山脇直司 編(2019)『共生社会の構築のために：教育、福祉、国際、スポーツ』星槎大学出版会 (2) 山脇直司(2011)『公共哲学からの応答—3.11の衝撃の後で』筑摩房 (3) 山脇直司(2008)『社会とどうかわるか』岩波ジュニア新書			

参考書・参考資料等

(1) 山脇直司(2008)『グローバル公共哲学：活私開公のヴィジョンのために』
東京大学出版会

学生に対する評価

スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)を総合して
評価する。